

訓練生便り第6号

2021年1月



主の愛に押し迫られて

私の地方召会には訓練卒業生が多くいましたが、私に訓練への願いはありませんでした。しかし、自分の周りで環境が起こされたことと、祈りの集会や短期訓練に参加したことをきっかけに訓練を意識し始めました。ですが、私は3年間続けていた仕事をやめることにとても抵抗がありました。就職活動で苦勞し、主が与えてくれた職を手放すのは惜しいと思い、訓練には行かないと決めました。それから内側に平安がなくもやもやした毎日が続きました。何度も何度も主は感覚を与えましたが、内側はずっと苦しいままでした。自分の中だけで保持し続けることに耐えられなくなり、それを手放した時に、内側の苦しい状態から解放されました。その後私はようやくからだに開いて訓練への願いがあることを交わり、訓練の召しに応じることができました。

主は日ごとに、何度も現れて下さいました。訓練生活は主の豊富な供給に満ちています！今もなお、キリストの愛がわたしたちに押し迫っています！主が何度も愛で押し迫って下さったことを感謝します！（N姉妹）

愛をもって現れる神

私は以前、臨機応変に物事をこなすことを美德としていて、生活の中で主の愛を感じることはありませんでした。しかし訓練生活の中で自分にその能力は無いと主からの照らしを受けました。受ければ受けるほど、自分には信頼出来なくなり、神を見つめるようになりました。神を見ることは、神を獲得することと等しいです。私という存在が終わらされた時、神は現れ、彼ご自身へと愛をもって惹き寄せて下さいました。神は照らしている時も愛の神です。あるクラスで「自分が終わらせられた時が奉仕のスタート」と言われました。訓練の中でこのスタートラインに立てる機会があることを主に感謝します。（A姉妹）

ハレルヤ！兄弟姉妹の祈りと支えのゆえに、継続して訓練にあずかれていることを感謝します。1月4日からオンラインの形で訓練が再開しました。コロナ情勢により、訓練生は各自今いる所(自宅または集会所)にとどまり、訓練を受けています。主がわたしたちの心を、神の愛の中へと、またキリストの忍耐の中へと、導いてくださいますように。今回の訓練生便りでは、訓練生それぞれの献身についての証しをご紹介します。

「なぜなら、あなたがたは代価をもって買い取られたからです。ですから、あなたがたの体において、神の栄光を現しなさい」（Iコリント6：20）。

神はわたしたちを所有しておられます。そして、彼はわたしたちに絶対的な権利を持っておられます。一息一息、一分一分、生涯の日々は彼からの贈り物です。...彼はわたしたちを尊い血で買われました。彼は代価を払ってわたしたちを所有したのです。しかし、彼の尊いことがなんであるか知っていますか？彼はわたしたちから要求されないのです。たとえ彼に要求する権利があったとしても、彼はわたしたちに決して献身の事柄を要求されないのです。...献身は完全に彼の愛によって動機付けられるのです。（2018年11月にモスクワで語られたトム・ゲッツ兄弟の言葉）

「なぜなら、キリストの愛がわたしたちに押し迫っているからです」（IIコリント5：14）。

わたしたちが自分を主にささげるのは、彼の愛が押し迫って、わたしたちを励ますからであると言います。彼の愛がわたしたちを強制するので、わたしたちは、自分を彼にささげないわけにはいかないのです。彼がわたしたちのために死んでくださったので、わたしたちすべては死んで、死を免れました。さらに、彼の死は、わたしたちに彼の命を得させ、彼に生きるようにさせます。この愛はわたしたちを励まし、わたしたちに彼を愛するように強制し、自分を彼にささげさせます。これは、わたしたちが彼の偉大な愛に感動し、報いることです。彼が彼の尊い血をもってわたしたちを買い取り、彼の買われた奴隷とされたこと、これが、自分を彼にささげる根拠です。彼が愛のゆえにわたしたちのために死なれたこと、これが、自分を彼にささげる動機です（IIコリント5：14～15）。（牧養シリーズ2、第10題目）

主を愛するためにあなた自身をささげなさい。他のどんな道も主にまさるものではありません。また他のどんな道もかくも安全で、かくも豊かで、かくも享受に満ちた道はありません。ただ彼を愛しなさい。他のどんなものも、顧慮するに及びません。わたしたちは、絶えず主に言わなければなりません、「主よ、わたしをあなたの愛の中に守って下さい！わたしをあなたご自身に引き寄せて下さい！終始あなたの愛の臨在の中に保って下さい」。このように祈るなら、わたしたちは、主に対してどんな愛を持っているか、またどんな種類の命を生きているかを見るでしょう。わたしたちは、ただ主ご自身によって生きるでしょう。（雅歌における命と建造、第2章）

からだの祈りによって訓練へ

「あなたがたのうちの二人が求めるどんな事でも、地上で調和一致するなら、天におられるわたしの父によって成就される」。(マタイ18:19)

私は訓練に行く一年前から訓練への願いが起されました。願いは祈れば祈るほど強くなる一方、環境においては突破すべき問題が沢山ありました。2018年11月に、現在同期の姉妹が連絡をくれ、当時訓練の願いがあった姉妹たちと共に電話で祈ることになりました。毎週お互いの問題や状況を聞き合って祈りました。私は多くの問題がありました。一つ一つ姉妹たちに聞いて祈りました。すると毎週前進があり、問題が解決されていきました。この祈りの実行の結果、その姉妹たちと共に2019年から訓練に参加することができました。ハレルヤ！からだの祈りを感謝します！（N姉妹）

主の愛に動機づけられささげる

私が訓練への参加を決心したのは、在職2年目の11月頃でした。その頃、浜松で全国特別集會が開かれ、メッセージでの語りかけや奉仕にあずかる中で、内側が照らされ、訓練の必要を感じ、訓練への参加を決心しました。私の職場では11月に上司との中間面談があり、その時に訓練に参加する旨を上司に伝えようと考えていました。しかし、面談の前に、同じ現場の先輩が産休に入り、また別の2人の先輩が退職することを聞きました。それを聞いた時、非常に失望し、訓練へ参加することを完全に諦めてしまいました。しかし、この環境はわたしを、最も親密で、愛情に満ちた主との交わりへともたらしました。あらゆることを主に告白し、悔い改め、時間を費やして主と交わりました。その中で与えられた御言がローマ8:39でした。「高いものも、深いものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスにある神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないと、わたしは確信するからです」。このような主の愛が、わたしに主を愛させ、動機付けて主にささげさせました。その後、私は3月の予備訓練から参加することができました。私は今尚、主にささげることは甘く、素晴らしい特権であると証しすることができます。主を愛する者には、すべてが共に働いて益となることをわたしたちは知っています。ですから、主にささげることは決して無駄ではありません。主を愛する青年の兄弟姉妹の前途を、主が祝福してくださいように。(W兄弟)



主の再来と若者

旧約におけるヨシヤであれカレブであれ、サムエルであれダビデであれ、新約で主イエスによって召された十二使徒であれ、彼らが最初に主に得られた時、だれも年配者ではありませんでした。...わたしたちが言うことができるのは、新しいことを開始するために神に用いられた、あるいは時代を転換するために神に選ばれたほとんどすべての人は、若者であったということです。(どのように若者を導くか、P.6)

主は早い道をとらなければなりません。彼はこれまでに得たことのない人たちを速やかに得て、この地上で彼の勝利者とし、また彼の再来を迎える彼の花嫁としなければなりません。今日、正式な結婚式では花婿がいつも最初に到着し、花嫁は2、3分後に入ってきます。花嫁が花婿よりも早く到着するのは不適切であると考えられています。しかしながら、新約の婚宴では、花婿が花嫁を待つのではなく、花嫁が花婿を待ちます。マタイによる福音書第25章のたとえ話において、自分のともし火を持って、花婿を迎えに出ていくのは、十人の処女です。しかし、今日だれが花婿を迎えに出ていくのでしょうか？わたしたちは、なおもこの世から出て、花婿であるキリストを迎えに行く一組のクリスチャンに出会う必要があります。しかしながら、大部分のクリスチャンはこの世にいます。今日、主は、自分のともし火を持って、花嫁である彼を迎えに出ていく一組の人々を得たいと願っておられます。どうかわたしたちがその一組の人々でありますように。(祝福された人生P.75)

青年たち、これはわたしの心からの言葉です。主の回復は拡大しており、それはかなりの速度で広がることを、確信しています。...このためには、柱の必要があります。それを見るなら、あなたは言うでしょう、「主よ、わたしはあなたがわたしをあなたの道に任命されたこと、またあなたの最新の言葉を聞いたことを、否定することはできません。わたしは主観的にキリストを経験しなければならないこと、またバベルでの召会生活の中で成就されなければならないことを認識しています。主よ、わたしをあわれみ、わたしが必要とする恵みを与えてください」。(創世記ライフスタディ(5)、82編)

全時間訓練・短期訓練のお知らせ

東京全時間訓練は、主を追い求めるすべての若い兄弟姉妹に開かれています。来期の訓練は4月5日から始まります。申し込みについての詳細はホームページを御覧ください。また、短期訓練は短期間それに加わりたいと願っているすべての聖徒に対して開かれています。短期訓練には定まった日程はありません。いつでも、何日間でも、来て参加することができます。

東京全時間訓練卒業集會のお知らせ

日付：2021年2月27日(土)
場所：早稲田基臨ビル(暫定)

どなたでもご参加いただけます。
Zoomでも中継予定です。
詳細は追ってお知らせします。